

「地域おこし協力隊」は、都市部などから移住して地域の活性化に取り組む総務省の制度です。任期は最大3年で、それぞれが観光やまちづくりサポートな

どのミッションを掲げて活動を行います。内子町には10月1日から、新たに2人が着任しました。ここでは新任隊員の思いを紹介します。

## 思い出の地で、一步ずつ。心から元気になれる地域を目指して



神野 眞人さん

- ▶ 出身地：新居浜市
- ▶ ミッション：五十崎地域での観光交流による地域づくり

子どもの頃に両親と五十崎大風合戦や花火大会を訪れた思い出があります。祭りなどの地域文化が今も守られているのは、実はすごいこと。町内の人だけでなく、訪れる人にもこのぬくもりを感じてほしいという思いで、協力隊を志しました。

前職は東京都にある建築関係の企業で、現場監督と職人をまとめる仕事をしていました。機転を利かせて問題を解決したり、人と人をつないだりするのが得意です。培った経験や知人との交友を生かし、五十崎の文化と自然を生かした企画を運営したいです。例えば川沿いのライトアップなど、誰もが気軽に立ち寄れる場所を作るのが今の目標。将来的には、五十崎地域が「ここに来れば

心から元気になれる」と感じられる場所になればと思います。

内子町のことも五十崎地域のことも、まだまだ分からないことだらけ……。活動中、町の皆さんと関わる中でたくさんのことを教わりたいです。内子町の魅力を真っすぐに、楽しく発信していきます。



御祓地区の滝打たれに挑戦。心身を浄化した

## 前向きな先輩たちと共に、農業の維持拡大に貢献したい



山縣 裕也さん

- ▶ 出身地：東京都
- ▶ ミッション：農業の技術継承と魅力などの情報発信を行う

幼少期、祖母の畑仕事を手伝う中で農業の面白さや達成感を知りました。東京農業大学での4年間は作物の栽培方法だけでなく、農家の後継者不足や第三者継承なども勉強。また実習では桃の栽培を行い、果樹に興味を持つきっかけになりました。就農地を探して移住フェアに参加した際、愛媛県の自然に惹かれて移住を決意。中でも内子町は、栗や梨など多様な果樹を作っているところが魅力的だと感じました。

今後は農業の担い手として、ブドウの栽培に力を入れていきます。先輩農家さんたちに教わりながら基礎を固め、2年目からは実際に自分で育てることを目標にしています。ブドウ栽培は「剪定ひとつでも、一年

の出来が変わる」といわれるほど奥が深いです。町内の農家さんを訪ねて回りましたが、技術を隠さず共有し、改善を続ける姿勢が印象的で、自分もそうありたいと思いました。将来は新品種や販路拡大にも挑戦し、内子町の果樹をもっと多くの人に知ってもらいたいです。



町内のブドウ農家を視察。勉強の日々



筋力の低下「サルコペニア」の簡単な調べ方を紹介する中口さん

「健康まつり2025」が9月6日、共生館で開かれました。高池健康づくり優良者表彰では、日々健康づくりに取り組む5人が表彰されました。続く記念講演では、愛媛大学医学部附属病院第三内科医師の中口博允さんが登壇。生活習慣病に関する

最新情報などを、「中高年の肥満は基礎代謝の低下が原因?」「電子レンジ加熱は栄養素が壊れる?」などのクイズ形式で解説しました。他にも脳年齢測定、内子町食生活改善推進協議会によるバザーなどもあり、健康意識を高める一日となりました。

### 健康に関するその噂は本当——? 健やかな自分へと意識を高める一日

学校給食のアレルギー事故防止研修が8月29日、共生館で開かれ、町内の小・中学校や幼稚園、給食センター職員など約180人が参加しました。6月に町内で発生した食物アレルギー事故を受けて、再発防止に向けて実施したもの。林純司教育

長は「再発防止の取り組みに終わりはしない。不断の努力で、子どもたちに安全でおいしい給食を」とあいさつ。続いて愛媛県教育委員会教育指導グループの折井智栄さんが講演し、参加者は各現場での具体的な対応ルールなどを再確認しました。



グループに分かれて、必要なルール作りについて話し合った参加者

## 地域を超えた獅子舞の共演 宜野座村を迎えて伝統芸能まつり

「第11回内子町伝統芸能まつり」が9月21日、共生館で開かれました。町内外の伝統芸能の保存団体などが集う催し。今回は「獅子舞」をメインテーマに、内子町の姉妹町村である沖縄県・宜野座村から、松田区芸能保存会と宜野座区二才団が参加しました。宜野座村の當眞淳村長は「52年間、文化や人材などさま

ざまな面で交流が続いてきた。今日は沖縄の獅子舞も楽しんで」とあいさつしました。沖縄獅子舞は前転などの豪快な演舞を披露。三線やほら貝の生演奏が響き、会場は琉球ムードに包まれました。内子町からは寺村獅子舞や伊予万歳などを上演。約200人の観客が文化交流と伝統芸能の魅力を味わいました。



上 宜野座区二才団の演舞では、「ワケヤ」と呼ばれる猿に扮しての清めの舞に続き、独特な獅子が登場 下 内子高校小田分校生も上演